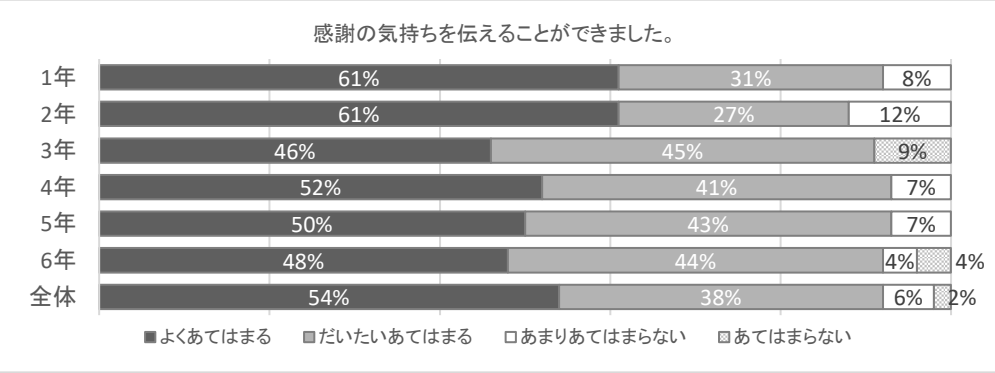
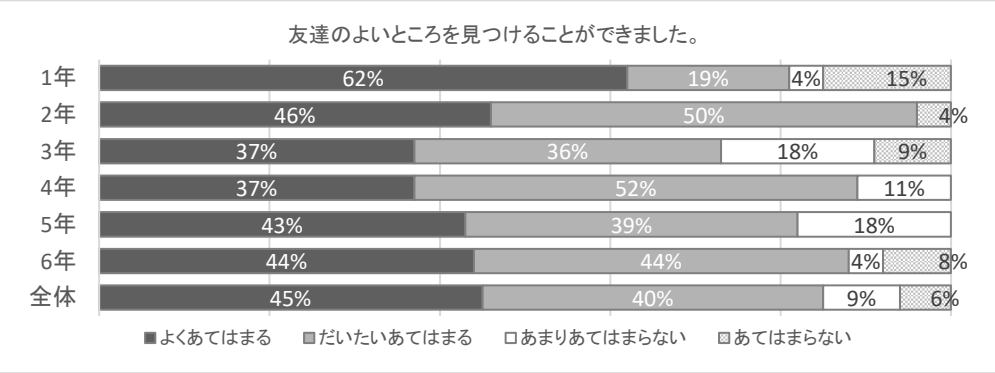
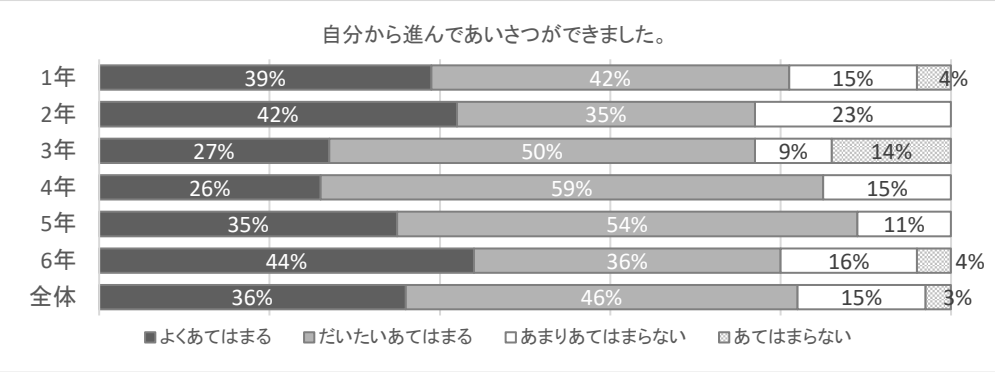
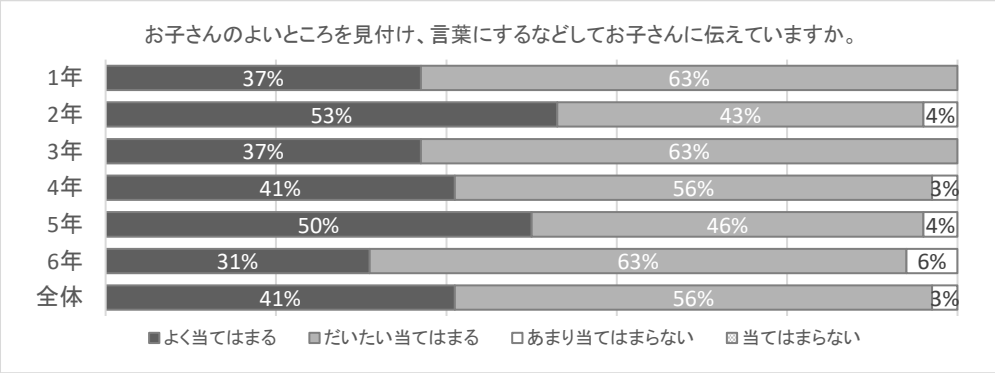
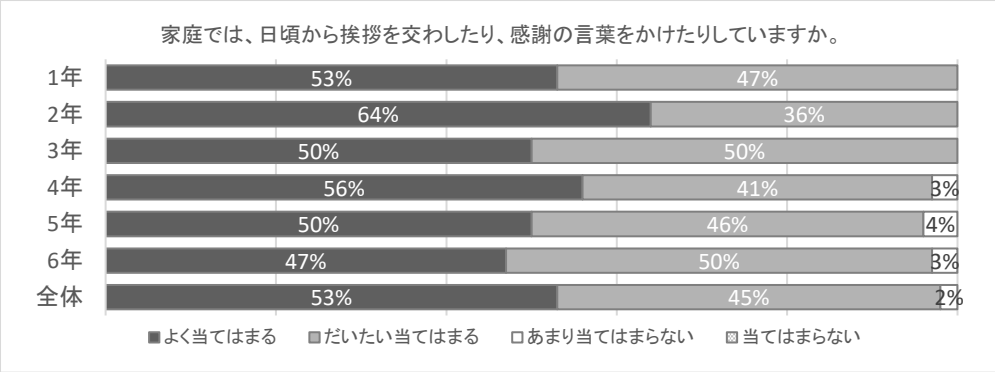


令和6年度 学校評価アンケート
児童

AP1



保護者



【○成果 ●課題 ☆改善策】

○「自分から進んで挨拶ができたか」に「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童は、82%であった。

○6月には「さわやか運動」（氷見高校・南部中学校と合同の挨拶運動）と合わせて「挨拶週間」を設定し実施した。運営委員の児童は地域や児童玄関前での挨拶運動を行った。また、各学級でも目当てを決め、挨拶運動に取り組んだ。

○「友達のよいところを見つけることができたか」の問いに「よくできた」「まあまあできた」と答えた児童は、85%であった。

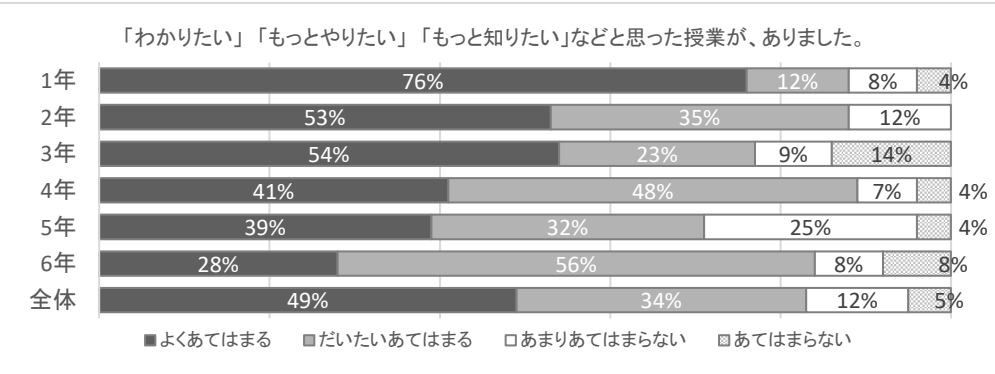
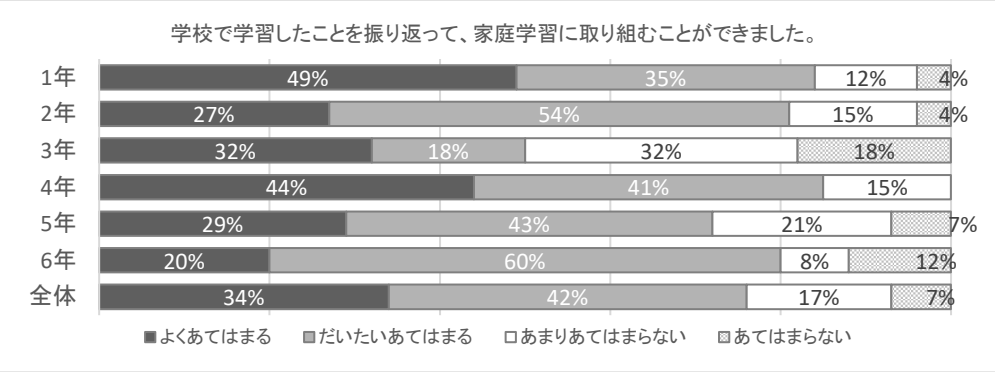
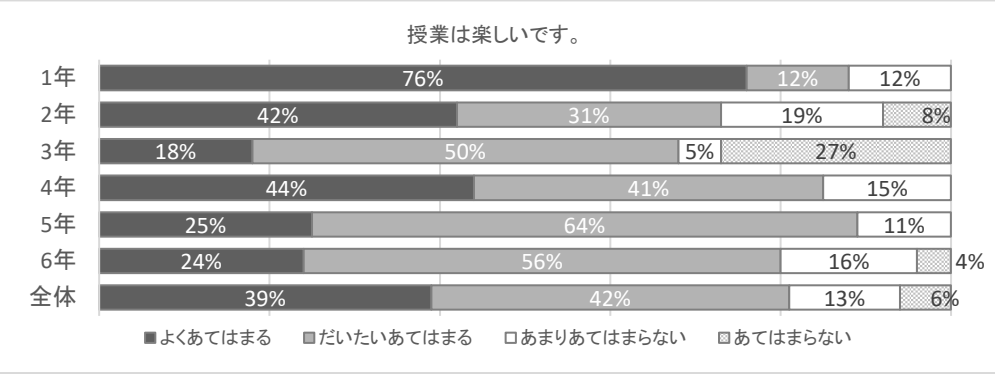
○運動会の「頑張りカード」では、全学年で、頑張っている友達について記述する欄を設け、保護者にも児童に対する前向きなメッセージをいただく欄を設けた。また、各学級では、発達段階に合わせて友達と認め合う活動に取り組んでいた。

●挨拶をされても、返せない児童がいる。

☆挨拶をしている児童のよさや相手を思いやる心を認め、広める声かけを意識して行う。

令和6年度 学校評価アンケート
児童

AP2



保護者

【○成果 ●課題 ☆改善策】

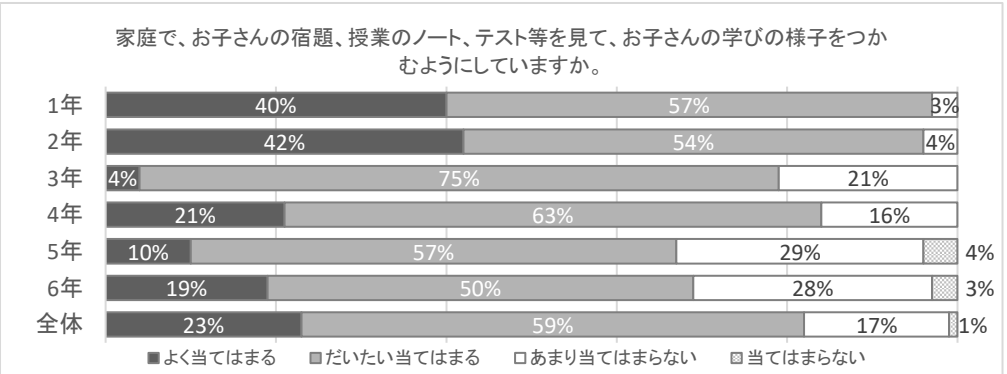
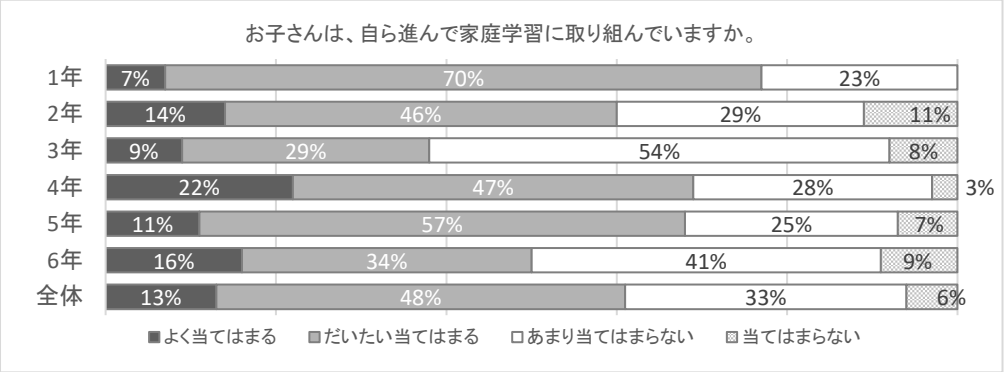
○「『もっと知りたい』『もっと分りたい』『もっとやりたい』と思った授業があった」に「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と評価した児童が83%であった。「分からなかったところを自主学習でもう一度やりたい」と振り返り、家庭学習につなげている児童がいた。

○校内研修で、各学級の実態や振り返りの仕方について共有する時間を設け、話し合うことで今後の実践への見通しをもつことができた。

●児童が「もっと知りたい」「もっと分りたい」「もっとやりたい」と思った教科として挙げたものは、「算数科」「体育科」が多かった。児童は、「できた」「できない」が分かりやすいものを挙げたと思われる。興味をもってさらに追究したいという意欲をもたせられるようにしていきたい。

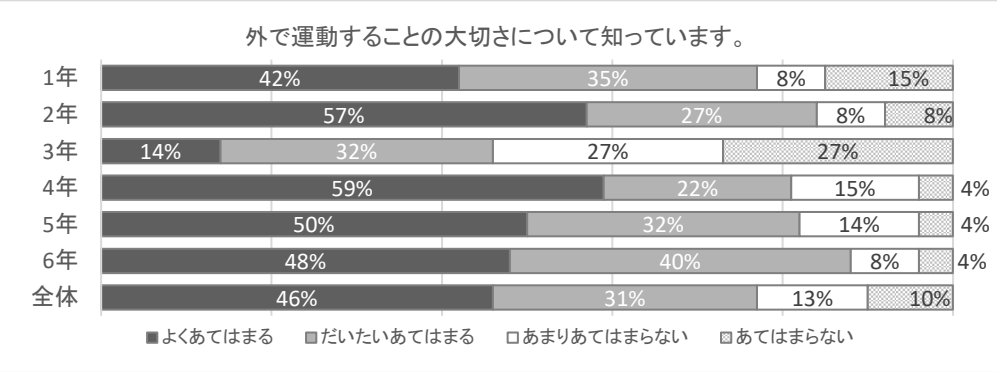
☆授業実践を校内研修で振り返り、よりよい授業づくりにつなげていく。

☆授業で学んだことを家庭学習につなげている児童の自主学習ノートをクラスで紹介する。



令和6年度 学校評価アンケート
児童

AP3



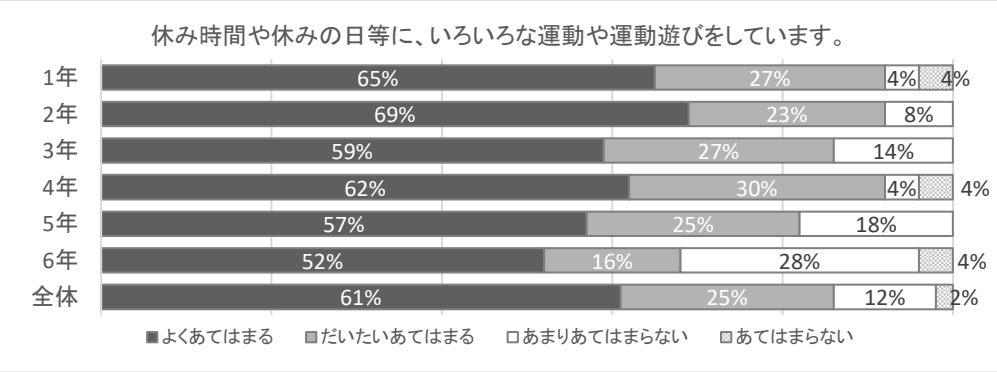
【○成果 ●課題 ☆改善策】

○「休み時間や休みの日等に、いろいろな運動や運動遊びをしていますか」に「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と評価した児童は、86%であった。多くの児童が運動を習慣的に行っている様子がうかがえる。

●「外で運動することの大切さについて知っていますか」に「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と評価した児童は、77%であった。外で運動することの意義が児童に十分に伝わっていないのではないかと考えられる。

☆体育委員会の活動で運動イベントをする。

☆保健だよりと保健委員会の活動で、外で運動することの大切さを伝える。



保護者

